OUTDOOR &SPORTS

VICTORINOX 002

My First Victorinox Multi Tools

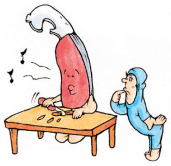
vol.2　ウィンドチャイムをつくろう

VICTORINOX

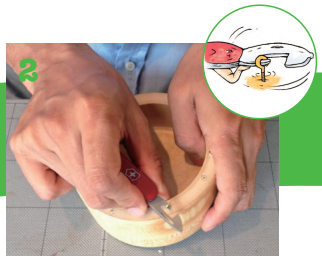
ビクトリノックスは、いまから130年ほど前、スイスの小さな村で生まれたマルチツール。子ども用に開発された「ティンカー for KIDS」を使って、親子でものづくりに挑戦します。先生は建築家・デザイナーの加藤匡毅さん。すてきな音が生まれるウィンドチャイムをつくります。

How to make Wind Chimes

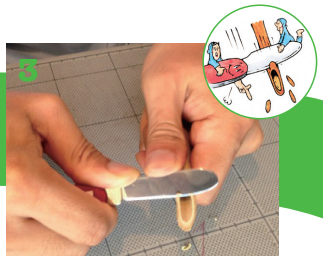
ウィンドチャイムをつくろう



竹筒（大）の底の中央と側面３カ所にリーマーで穴を開けます。



枝や竹を吊るすためのフックネジを６カ所に取りつけます。カン切りを使うと、無理なくねじ込めます。



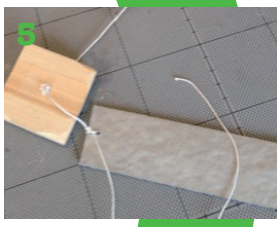
小枝や細い竹の先をナイフで削ります。小枝は先を細くし、まっすぐにします。

小枝と竹にひもを通すための穴とおもりとなる竹片（5cm角）の中央に穴を開けます。

1で開けた穴にひもを通し、中央のひもと束ねて結び、最後にＳ字フックをつけたら完成！

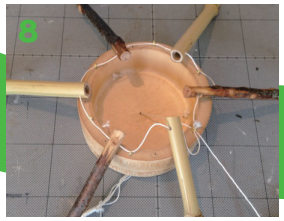
用意するもの

ティンカー for KIDS
小型ノコギリ
竹筒（大）1コ、竹（小）3本
竹片（5cm角）1コ
小枝　3本
厚紙　1枚、ひも
フックネジ　6コ
S字フック　1コ

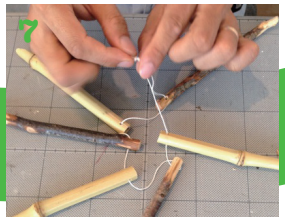


厚紙を短冊状に切り、風受けをつくります。＊写真の風受けは、タマゴのパックの底を使ったものです。

バランスを見ながら、おもりがちょうどいい位置になるように、団子結びをして高さを調整します。



つないだひもをフックに引っかけます。



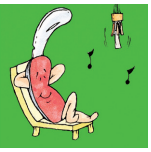
小枝と細い竹を１本のひもで結びます。

本体、おもり、風受けの紙を結びつけます。

plofile

加藤匡毅　建築家・デザイナー。隈研吾建築都市設計事務所、IDEE、GEOGRAPH を経て、2012 年より設計・デザイン事務所 PUDDLE を設立。プロダクトから宇宙エレベーターまで普遍性と遊び心を武器にデザインをおこなう。「宇宙エレベーターデザインコンペ」最優秀賞・特別賞、グッドデザイン賞受賞。www.puddle.co.jp

point! ▶ 中心のおもりの位置によって音が変わります。小枝と竹が当たる位置や、吊るす長さで音が変わるので、好きな音が出るようにいろいろ試してみてください。吊るす小枝や竹を長さ違いにしても、おもしろい音が出るかもしれません。



写真（表）：福田真知子　イラスト：中垣ゆたか

VICTORINOX

小さな村で生まれたマルチツール

1884年、ドイツとフランスで刃物作りの修業を積んだ創業者カール・エルズナーが、故郷スイスのイーバッハという小さな村で工房を開設したことから始まり、ビクトリノックスのマルチツールは生まれました。創業から1世紀以上、人々の日常生活をサポートするだけでなく、エベレスト、アマゾンやスペースシャトルの船内など、さまざまなアドベンチャーの現場にも立ち会っています。

VICTORINOX for KIDS

先端が丸くなったナイフを搭載した新しいマルチツール「ティンカー for KIDS」は、子どもが初めてもつ1本として推奨しています。その「ティンカー for KIDS」と、ナイフをつかった工作を提案する「脳育工作キット」をセットにした「ビクトリノックス脳育工作BOX セット」。ナイフの正しいつかいかたを学べる教本も同梱され、ナイフ経験に自信のない保護者の方でも、子どもと一緒に楽しむことができるセットになっています。

ティンカー for KIDS（単品）
¥2,800（税抜）

脳育工作 BOX セット／
ひのきのおやこばし
¥3,800（税抜）

脳育工作 BOX セット／
ひのきのとんぼ
¥3,800（税抜）

［お問い合わせ］ ビクトリノックス・ジャパン株式会社　☎ 03-3796-0951
www.victorinox.com